

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【公開番号】特開 2004-13159 (P2004-13159A)
【公開日】平成 16 年 1 月 15 日 (2004.1.15)
【年通号数】公開・登録公報 2004-002
【出願番号】特願 2003-161193 (P2003-161193)
【国際特許分類】

G 0 2 B 6/26 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 6/26

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 29 日 (2006.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】光ビームを放射する放射源と、

前記放射光ビームに対して光軸が小さな角度で傾いており、前記放射光ビームを受けとり、一部を反射する部分反射要素と、

前記放射源と近接して配列され、前記部分反射要素で反射された部分を受光して透過する透過要素とを有し、

前記透過要素は、前記入力光ビームを放射する光ファイバを少なくとも部分的に固定し、あるいは位置決めするように設計され、前記入力光ビームの横方向にずれた前記反射された部分を、前記入力ファイバから離れた方に透過するように設けられている光デバイス。

【請求項 2】前記透過要素は、受光した反射部分のうち実質的にいずれの部分も、反射要素に向けて反射せず、続いて放射源に向けても反射しないように設けられている、請求項 1 に記載の光デバイス。

【請求項 3】前記反射要素からの反射部分を透過要素へとマッピングすることにより、前記放射光ビームと前記反射光ビーム間に横方向の小さなずれ (x) をもたらすマッピング要素をさらに有する、請求項 1 または 2 に記載の光デバイス。

【請求項 4】前記部分反射要素の傾きは、横方向のずれを決定するべく調節可能である、請求項 1 から 3 のいずれか 1 つに記載の光デバイス。

【請求項 5】前記マッピング要素は、前記放射源から放射された光ビームを平行化する、請求項 3 に記載の光デバイス。

【請求項 6】前記マッピング要素は、前記放射源から放射された光ビームを平行化し、前記反射要素からの反射部分を前記透過要素に対して集束するコリメータレンズを有する、請求項 3 から 5 のいずれか 1 つに記載の光デバイス。

【請求項 7】前記透過要素は、前記放射源に対して横方向に小さく (x だけ) ずれて配列されている、請求項 1 から 6 のいずれか 1 つに記載の光デバイス。

【請求項 8】前記透過要素は、前記反射部分を透過させる光ファイバを有している、請求項 1 から 7 のいずれか 1 つに記載の光デバイス。

【請求項 9】前記透過要素と前記放射源から放射される前記光ビームを導波する光ファイバを収容するフェルール要素をさらに有する、請求項 1 から 8 のいずれか 1 つに記載の光デバイス。

【請求項 10】前記部分反射要素の光軸は、前記放射光ビームに対して 15° よりも小さな角度で傾いている、請求項 1 から 9 のいずれか 1 つに記載の光デバイス。

【請求項 11】前記部分反射要素は、前記放射光ビームの光強度を減衰させる減衰デバイスである、請求項 1 から 10 のいずれか 1 つに記載の光デバイス。